

目次

はじめに 金剛流若宗家 金剛龍謹——一

第一章

能の歴史と金剛流の歴史——七

能の歴史 その芽生えから明治期まで——八

萌芽の時代／世阿弥の功績と悲劇／足利義教の最期と応仁の乱／秀吉の時代／江戸期、式楽としての能と禁裏御用／明治期、維新で迎える最大の危機

金剛流の歴史 流儀の起源と歴代大夫——一六

主だった金剛大夫の系譜——二〇

坂戸金剛家

【流祖】坂戸孫太郎氏勝／【五世】金剛三郎正明／【七世】金剛兵衛尉氏正／

【九世】金剛又兵衛康季／金剛弥一／金剛七大夫長能／【十五世】金剛又兵衛長頼／

金剛五郎四郎／【二十一世】金剛唯一／【二十二世】金剛泰一郎／【二十三世】金剛右京氏慧

野村金剛家

【野村金剛初代】野村利兵衛信吉／野村三次郎直寛／金剛禎之助直勝／金剛謹之輔直喜／
【二十四世】初世 金剛巖／【二十五世】二世 金剛巖／【二十六世】金剛永謹

金剛家伝来の面——五〇

金剛家伝来の装束——五一

金剛能楽堂——五四

龍謹雑録

『申楽談儀』に見える最古の記述——二二／室町期を代表する能役者、金剛兵衛尉氏正——二三／
戦国期の金剛大夫——二六／江戸時代の金剛大夫——二八／明治の能楽の危機と金剛流——三一／
野村金剛家の事績Ⅰ——三七／野村金剛家の事績Ⅱ——四五／流儀の舞台がある有難さ——五七

第二章

四季の能——五九

翁 白式尉——六〇・八九

竹生島 泥黒髭——六二・九四

田村 赤平太——六四・九九

羽衣——六六・一〇七

道成寺 般若——六八・一一二

隅田川 曲見——七二・一二〇

杜若 小面——七四・一二六

半蔀——七六・一三二

加茂——七七・一三七

鶉飼——七八・一四〇

枕慈童 童子——八〇・一四五

松風——八二・一五一

井筒 孫次郎——八三・一五七

船弁慶 怪士——八六・一六三

鉢木——八八・一六九

龍謹雑録

金剛家の初面——九三／乱拍子は流儀ごと——一一九／

石和鶉飼は徒歩鶉——一四四／祇園祭の菊水鉢と金剛流——一四九／

能面「孫次郎」誕生秘話——一五五／『伊勢物語』二十三段と能《井筒》——一六二／

新しい時代の「風流能」——一六七／名君・最明寺時頼——一七三

能を観るために知っておきたい基礎知識——一七四

あとがき

新たな一步に 二十六世金剛流宗家 金剛 永謹——一八二